

第7回 環境基本計画検討委員会 会議結果報告（概要）

日 時 : 平成 24 年 6 月 20 日（水）午前 10 時～12 時
場 所 : コミュニティーセンターやす 2階 研修室
出 席 : 委員 11 人、傍聴 6 人、事務局 4 人

1. あいさつ

北出 委員長 / 野玉 環境課長

2. 報告・確認

- 第 6 回検討委員会の報告内容確認 … 異議なし

3. 議題

- 各主体との連携方法について

前回までのワークショップでの議論を事務局で整理し、それに基づき主体ごとにさらに検討を重ねた。

<自治会> 自治会の環境保全活動に対する行政の支援体制の構築

- ・ 「農地・水・環境保全事業」は自治会が直接実施している事業ではないが、地域で活動されているものであるため、連携を進めていってはどうか。
- ・ 自治会で実施する環境研修を支援するものとして、講師の人材育成や登録制度、謝金補助などが考えられる。

<企業> 市民を対象とした企業の環境取り組みPRの推進

- ・ PRの手法として、環境に配慮した事業活動をされている企業の見学ツアーを追加してはどうか。
- ・ 既に地域と工業団地で継続した連携により、信頼関係が構築されている事例もある。
- ・ 現状の問題点として、「CSR活動を行っているにもかかわらず、地域との交流が図れていない」ことを追加してはどうか。

<学校> 教員に負担を掛けない野洲独自の環境学習プログラムの構築

- ・ 総合学習の時間が削減されており、環境学習に充てられる時間の確保が難しいのが現状であるが、市民や企業がフォローアップできる体制が作れないか。
- ・ 時間と安全面の制約のため、校外に子どもを連れ出すことは難しいが、市民が講師となることで活動の実体験と感動を子どもたちに伝えることができる。

（次頁へ続く）

＜各種団体＞ 団体同士をマッチングさせる仕組みの構築

- ・ 出会いという意味では、やすまる広場は定着しつつあり、企業のCSR活動報告も増えてきた。
- ・ 市民活動支援センターやコミュニティーセンター事業との連携が不可欠

＜行政＞ 環境施策推進体制の確立

＜ネットワーク＞ 環境活動・情報の拠点整備と、それを担うコーディネーターの育成

- ・ 次回会議において議論を深める。

4. その他

○ 次回以降の連絡

第8回 7月18日（水） 10時～ 野洲市役所 本館3階 第1委員会室

第9回 7月29日（日） 14時～ コミュニティーセンターなかさと

※ 第9回は、各主体との連携について、市民と意見交換を図るため休日開催とする。

（傍聴者との意見交換の時間を取る形を予定）